

空き家情報集約のプラットフォーム化と共生都市～まちが百貨店～構想の推進 (特定非営利活動法人ひらた空き家再生舎)

発表資料

課題	○平田地域の空き家600件のうち、空き家バンク登録6件 (空き家を利用したい人はいるが所有者は利活用に関心がない)
目的	□空き家利活用モデル(成功例)をつかって、所有者に処分のアクションを促す □空き家でやりたい、使いたい、の中核となり、空き家に対する快情報を発信することで、地域内劇場型空き家対策モデル(自称)で情報が自然と集まる仕組み作り
取組内容	① 一月に一回の空き家相談会の開催 ② 平田高校生とのワークショップの実施 ③ タウンミーティングの開催(合計2回) ④ 空き家情報の発信スペースとして多目的無料空間を常時提供 「すずかけ荘」(昨年度平田高校と設立した多目的空間&シェアハウス)の拠点化 無料開放で空き家、空き地利活用の実践と空き家相談会の開催で情報収集 ☆平田高校生とワークショップ形式で「すずかけ荘」利用促進と空き家課題の啓発活動 ☆タウンミーティングの開催による地域の中核的中期ビジョンの策定 点から面の展開へ向けて、第二第三の成功事例を地域と生み出す仕掛けづくり これらを加入率7割以上の地域内ケーブルテレビ・法人SNSで随時発信
成果	空き家相談会とは別に、空き家の処分相談、空き家の情報、空き家を用いた地域課題解決に向けた相談の問い合わせが個人、団体問わず増加

空き家相談会の開催

【開催目的】

空き家の所有者と利用者をマッチングさせ、**空き家利用の循環**を促進させる。

【開催回数】

9月～12月 10時～12時（1回／月）

新型コロナウイルス感染拡大により8・2月は実施せず

【開催方法】

新聞折り込みで広報を行い、現地で空き家の売却や処分、利活用希望の来場者をスタッフが対応。対応が可能な内容については同日に対応、それ以外については連絡先を確認し、後日対応とした。また、行政に問い合わせが必要な情報については、都度相談した。

【開催結果】

計 14件 居住・利用希望 9件 売却・処分希望 5件

居住・利用希望地と売却・処分希望地が合致せず、本取り組み内でのマッチングには至らず。全体的に利用希望が多く、ニーズに十分に対応できなかったが、その後の問い合わせや現地調査によって集まった4件の希望地域に合致する物件情報を整理して今後希望者へ情報提供⇒マッチングへ向けて活動継続



平田高校生との空き家ワークショップの実施

【目的】

未来を担う学生に空き家問題に関心を持ってもらうと同時に取り組みを地域の方々にケーブルテレビを通して発信することで、空き家問題の関心を高める。

【実施内容】

高校の授業の一環として、昨年度平田高校生と手がけた「すずかけ荘」の利用促進に向けたリニューアル、十分に管理が行き届いていない空き地を管理しやすいように整備するなどの作業を一緒に行い、完成した状態を地域のケーブルテレビに取り上げてもらい発信した。

【実施結果】

地域住民の当法人の認知度が上がり、放送をみた所有者から空き家処分の問い合わせにつながった。



平田地域の中期ビジョン策定の為のタウンミーティングの開催

【目的】

当法人×平田高校生＝「すずかけ荘」(多目的スペース)の方式として成功した空き家利活用を点から面に広げるために各種団体や個人を巻き込み、地域全体の目標を策定する。その中で空き家の利活用に関する取り組み支援を当法人が行うことで、空き家問題解決の中核的立場を確立し、地域住民に情報発信することで空き家に関する相談窓口としての立場を確立させる。

【開催内容】

- 各種団体、個人と協力し数回にわたってタウンミーティングを開催し、地域の中核ビジョンを策定
- R4年3月6日に第一回目のタウンミーティングを開催予定
- 次年度とはなるが、R4年4月17日、R4年6月12日に第二回、第三回のタウンミーティングを開催し、その前後で実行委員会形式で検討を重ねて中期ビジョンを策定する予定。

【取り組み結果(途中経過)】

タウンミーティング自体は今後開催予定だが、準備段階での調査、趣旨説明を通して当法人の各種団体での認知度と取り組み内容を知っていただき、協力関係を構築することができた。

その中で、平田地域が抱える高校存続問題解決のための寮の設立やテナント出店希望の問い合わせ、旧中心市街地の空き家利活用に向けた提案など頂けるに至った。

「すずかけ荘」の無料開放

【目的】

空き家情報集約と空き家、空きスペース利用促進に向けた拠点として「すずかけ荘」を無料開放することで、空き家問題全般への地域住民の関心を高める

【実施内容】

月曜日～土曜日 8時～18時まで常時開放

入り口側土間スペースは自由の利用 奥側和室スペースは電話で利用の連絡をすれば利用可能

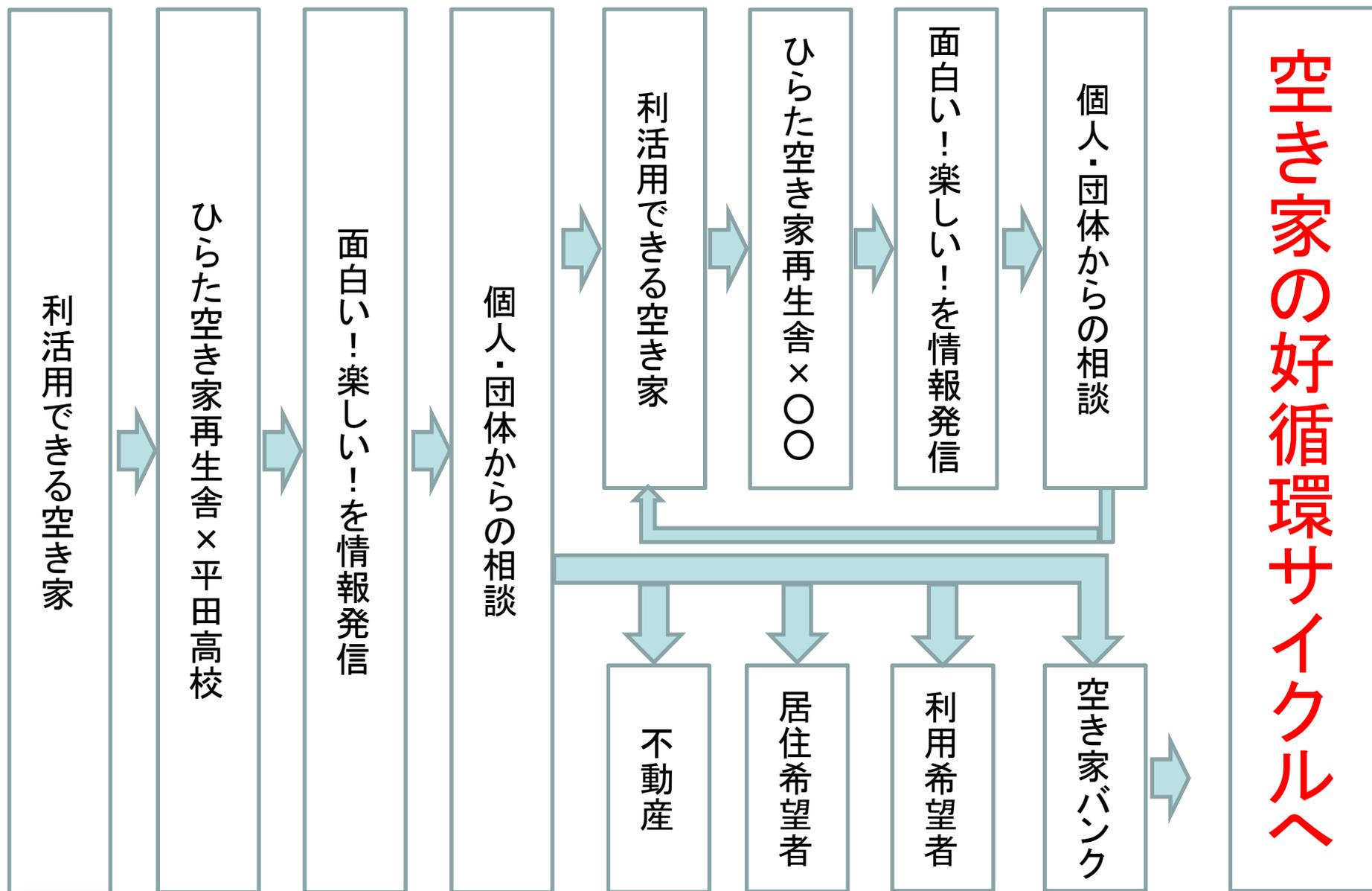
【実施結果】

○無料で開放することで、平田高校生がコンサートや時節のイベントを開催したり、町内会単位でのワークショップ、地域住民による「ハレの日」(マルシェ)イベント、ケーブルテレビの収録場所など多様な用途で地域の方々に主体的に利用してもらうことができた。

⇒これらの様子をケーブルテレビで発信してもらうことで、すずかけ荘に来訪、チラシを見て利用に関する問い合わせが1件あった。



当法人の空き家情報プラットフォーム化に向けて



事業名称を記載（事業主体名を記載）

発表資料作成あたりの留意事項

課題	任意の事業名称（※住宅市場を活用した空き家対策モデル事業ではない。事業報告書記載の事業名称と揃える）と、（ ）内に事業主体名を必ず記載してください。
目的	※各項目について、簡潔に記載してください。 ※表や文字のサイズは適宜変更してかまいませんが、この表のみのスライドにならないようにしてください。
取組内容	
成果	

※取組内容の詳細や成果(物)の内容などについて、各団体の取組内容に即して工夫の上、図表や写真を交えて記載してください。

※取組の特徴となる部分や取組効果など、貴団体の取組のアピールポイントとなる部分をメインに記載してください。

※添付又は作成する図表や写真、文字の大きさは自由ですが、内容が第3者にも伝わる大きさとしてください。

※本資料は発表時に画面に投影するようにしてください。動画配信時にはHPでも期間限定で公開します。

※zoomの動画作成方法参考URL: <https://media.tebiki.jp/022>

⇒画面共有で発表資料スライドを見せ、自分のカメラ画面は最小化して画面全体の端に映すイメージです。

※A4用紙1枚～6枚に収まるように要点を簡潔に記載してください。

※完了実績報告時には、当該様式を使いA4用紙1枚に収めていただく必要があります。

完了実績報告書類の過去の参考例は国土交通省ホームページ

(https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk3_000062.html)をご参照ください。